

第3回刈谷市都市交通協議会 議事概要

日時

平成23年5月12日(木) 午後15:00~

場所

刈谷市役所1階101会議室

出席者

会長及び委員 計20名 事務局6名 その他出席者7名

議事

- (1) 刈谷市における都市交通の現状と課題について
- (2) 刈谷市の都市交通ビジョンについて
- (3) その他

議事の概要

- (1) 刈谷市における都市交通の現状と課題について
- (2) 刈谷市の都市交通ビジョンについて

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
目標像2が「交流」の基本方針に結びついている形となっているが、南北軸を形成すれば「だれでも、いつでも、どこからでもまちなかに行きやすく」が達成されるとは言えない。いかがでしょうか。	南北軸の形成は、この目標像を具現化する上で非常に重要な役割を果たすという意味で、あえてここで南北軸の形成をうたっている。これだけで目標を達成することは難しいので、南北軸を中心にしながら、公共交通や自転車等のネットワークを形成していくことが重要になってくるという考え方であり、それを「交流」の基本方針「まちのにぎわいづくりと一体化に資する都市交通体系の構築」として示している。
「行きやすく」という目標像に対しての具体的な方法論とその評価の方法についての質問になるが、今日の会議ではどこまで議論するのかを明確にする必要がある。おそらくそれが質問の答えにもなると思うが、事務局より説明をお願いしたい。	まず方法論については、南北軸でいえば、この軸がどのようなサービス水準を持っているかというところに焦点をあてていく必要があると思う。そこをきちんと決めていくことが今後の大きなテーマである。また、そういうものをつくっていくにあたってどういう指標を用いていくかについては、右の「期待される効果」にある“移動環境に満足する市民の割合”などの指標を現時点として挙げている。具体的にサー

	<p>ビス水準をどの程度にするかについては、今後のテーマとして捉えていただきたい。</p>
<p>評価の方法について言えば、直接の答えは、「期待される効果」に書いてある。丁寧に言えば、「基本方針」と「期待される効果」の間にある矢印の部分によって、どう「期待される効果」を実現させていくかが重要であり、そこについては、現段階で検討ができていないのが現状である。</p> <p>そういうことで、今の「基本方針」と「期待される効果」を基に、「行きやすく」するためにどうしたらいいかということを経験していただけるとよいと思う。</p>	
<p>そういうふうにビジョンを今日は固めていくことになる。具体的に何がどこまでできるかはこれからの議論となってくるということで、それに対する適切な評価指標も今後の検討内容となってくる。現段階で示されているものは、最低限この指標は必要だといった解釈で捉えていただきたい。</p>	<p>昔からの課題として挙げられている南北軸の強化を、このビジョンに基づいて図っていくことができれば、こういった目標像に近い具体的な成果がでるのではないかと我々道路を計画する側としても共通認識を持っている。</p>
<p>この南北軸は「不足」のレベルにあるといえる。ネットワーク全体を完成させていくためには、この「不足」の部分を補っていかねばならないということで、ここに南北軸が記述されているという解釈をしていただければと思う。</p>	<p>「産業」については、南北縦貫道路の話があるが、これは“通過交通と都市交通を分離する”と“問題交差点を解消する”といった目的であり、軸としては考えられない。しかし、旅客(人)の面から言えば、車ではなくて、公共交通や自転車といった交通手段の中で南北軸を形成することが重要になってくる。そういった面で「交流」のところで南北軸を取り上げることによって、それが10ページの図「公共交通ネットワークの形成イメージ」につながっていくことになる。そういった意味合いで「交流」の中に南北軸を盛り込むのが必然だと考えている。</p>
<p>南北軸の位置づけは理解できるが、4つの基本方針の中の「交流」にのみ記述されていることに違和感がある。本来なら「産業」や「生活」にも関わってくる部分である。「交流」に挙げてしまうことで後々の議論が難しいことになるのであれば、この南北軸の記述を削除した方がよいのではないかなと思う。</p>	<p>「特に」ということなので、南北軸しかやらないという意味ではない。10ページからみても分かるように、これをやることによって非常に大きな改善が見込まれることが明</p>
<p>軸というのは道路だけではなく、公共交通も含まれている。南北軸をつくるにあたって一番やりたいのは、人と人のつながりみたいな部分である。そういうものを強調するため</p>	

<p>に「交流」のところに記述されているという考えでよいと思う。</p>	<p>らかなので特出ししたということである。</p>
<p>「環境」の見出しが「エコモビリティライフ・ビジネスの実現」と変わったが、「ビジネス」は何を指すのかが分かりにくいのではないか。</p>	<p>低炭素型の自動車の普及・促進は、ビジネスにも関わってくるという点で、事務局として「エコモビリティライフ・ビジネスの実現」という表現を用いた。</p>
<p>車に頼りすぎない生活及び仕事、業務の実現という考えであるが、自動車産業でたくさん低炭素型自動車を生産するという意味合いとしては用いていない。CO2をたくさん排出するような移動をすることが必然であるような仕事の仕方はやめてくださいねという意味合いである。特に、刈谷は産業都市ということから、「ライフ」のみではいけないという考えがあった。ただし、「ビジネス」と書くと誤解を招きやすいので、この表現については、この場で議論していただきたい。</p>	<p>例えば「環境」の見出しの下にある、“企業と一体となった環境にやさしい交通体系の確立”なり“交通行動の実現”という言葉がイメージとして合致するのではないかと思う。</p>
<p>その部分を表に出して「エコモビリティライフ」という言葉を残す表現、例えば「企業と地域が一体となったエコモビリティライフの実現」という表現でおさまりがつくのではないかと思う</p>	<p>この表現でよいのではないかと思う。愛知県で推進しているエコモビリティライフの中では、エコ通勤が大きな柱として挙げられており、これはライフと企業の両方にまたがるものである。表現は工夫していただくこととして、産業・企業と生活の両方がまたがるような前置きをつけていただきたい。</p>
<p>エコ通勤も含めて、エコ出張やエコ物流とか、そういうところも産業都市であるがゆえに考えないといけないと思う。</p>	<p>「企業と地域社会が一体となったエコモビリティライフの実現」というタイトルにさせていただいて、具体的なビジネスの部分については、下の文章に加筆させていただくという形でどうか。</p>
<p>資料1、資料2にもあるが、「防災に強いまちづくり」というのは言葉としておかしいのではないか。「災害に強い」ということではないか。</p>	<p>防災・減災両方の意味合いを含むということで、「災害に強いまちづくり」に直すということにしましょう。</p>
<p>刈谷駅周辺の地区と住宅地が密集する刈谷市駅の間公共施設や商業施設のある区域を、面的に安全で快適な移動環境を整備し</p>	<p>面的な道路環境整備がイメージできるような表現にする。</p>

<p>ていくということで捉えてほしいということ とで追加した。このようなニュアンスにして いただければと思う。</p>	
---	--

(3) その他

<p>主な質問・指摘事項</p>	<p>回答・対応方針</p>
<p>今後の進め方ということで、部会方式で2 つの部会に分けて、それぞれ議論を行い、ま たこの協議会全体会合で議論をしていく形 となる。問題となるのは、両部会でどちらが どのテーマを扱うかということになるが、そ の議論の進め方はこれから工夫が必要であ ると感じている。</p>	<p>これでビジョンの方も一段落つくので、今 後はオープンハウスの検討に移らせていた だきたい。時期等確定したら、個別に案内さ せていただきます。場所としては、駅や商業 施設といった人が集まる場所で、パネルで ご意見をいただくという形で考えている。</p>